

□議員名：矢田松夫

1 埴生レーダー基地について

論点	レーダー施設が、地元住民の生活や事業関係者に大きな影響がないのか。
回答	市民の不安が払拭できるよう、国の責任において丁寧な説明をするよう求めていく。施設の運用には、市民の安全安心の確保を引き続き強く求めている。

論点	市長は静観をするのではなく、積極的に住民の声を聞く場を、早急に論じる場所をセットすべきではないか。
回答	来年の3月までに詳細設計が完成するので、数値が出るまで議論する必要はない。住民の説明会を開催する予定はない。

論点	現地に行き地元の声を聞くのが市長の仕事ではないか。説明会は防衛省の仕事であり、声を聞くのは市長の仕事。誰でもわかる事だ。
回答	数値など我々に納得し十分に理解できないものでなければ、認めるわけにはいきませんと明確に防衛省局長に伝えている。

2、厚陽地区光ファイバ整備事業について

論点	厚陽地区18自治会（938世帯）の全てにわたり、あまねく公平に「光」が利用できるのか。
回答	局番が74, 75, 78の世帯が対象になるが、電柱からの距離で接続できない世帯数は必ずあるとは言えない。整備してみないとハッキリとわからない。

論点	同一自治会内で「光」を享受できない格差や不平等が発生する世帯があってもいいのか。
回答	市が世帯数の調査をすることは難しいが、多くの世帯が利用できるよう通信事業者へ要望をする。

3、コロナ禍における事業推進について

論点	全国的にコロナ感染症対策で、事業（物品購入）が集中されているから予算執行されていない例や理由は何なのか。
回答	22の感染症対策事業のうち、厚狭図書館と中央図書館の消毒機購入は、需要が殺到しており納品に至っていない。

論点	発熱外来事業は休止されているが、再開に向けて検討されているのか。実施計画があるのか。
回答	再会に向けての協議は、早くから医師会等と一緒に協議をしている。さらに、検査体制を踏まえて現在協議をしている。

論点	児童クラブ19教室への物品購入は、上からトップダウンで備品購入を決定されていないのか。
回答	事前に委託先である社会福祉協議会と調整をして、市の方に挙げていただく形を取っている。すでに、物品購入については相談があった。